

CASBEE 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築(2011年版) 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)南部物流センター	階数	地上2F
建設地	京都府宇治市伊勢田町西遊田	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	200 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,900 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年10月 予定	評価の実施日	2012年4月3日
敷地面積	6,594 m ²	作成者	竹中工務店設計部 堀江
建築面積	2,507 m ²	確認者	
延床面積	4,594 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE=1.2 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合 生鮮果実食品を扱う配送センターであることから、維持管理の合理性かつ清掃性・防汚性・防埃性に配慮した施設計画としている。		0
Q1 室内環境 一般的な事務所・配送センターとしての標準的な配慮を行っている。	Q2 サービス性能 一般的な事務所・配送センターとしての機能性を有し、かつ、生鮮果実食品を扱う施設であることから、清掃性・防汚性・防埃性に対しては十分な対策を行っている。	Q3 室外環境(敷地内) まちなみや景観について条例に即した配慮を行っている。
LR1 エネルギー 一般的な事務所・配送センターとしての標準的な配慮を行っている。	LR2 資源・マテリアル 一般的な事務所・配送センターとしての標準的な配慮を実施し、かつライフサイクル材の採用に努めている。	LR3 敷地外環境 一般的な事務所・配送センターとしての標準的な配慮を行っている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照された